
世界崩壊！？

野行く

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界崩壊！？

【Nコード】

N3531D

【作者名】

野行く

【あらすじ】

この物語はちょっとした日常の会話で誰かが主人公になる物語です。火星に似た星レイシールは突然変異でいろいろな種族が住むようになった！

第一話 怒り！（前書き）

この物語はちょっと教育上良くないセリフや表現が出てくること
があります読むときはご注意ください

この物語はいろいろな種族のおもしろおかしくキャラクターが物語
を彩る、無茶苦茶なストーリーです
他のキャラクターの話題であまりの馬鹿馬鹿しさにキャラクターが
世界崩壊を仕掛ける物語です。

この物語の主人公は決まっておらず、その話によく出てくるキャラ
クターがその話の主人公です。

さて、そろそろ物語の方をのぞいてみましょう…

第一話 怒り！

この物語の舞台は火星に似た星レイシールでそしてこの学園王国セリアン、そのキャラクターがいる所は一年五組である。

そしていつものように笑いあっているキャラクターへ耳を傾けてみよう……。

黄色い声援を出してる後ろの黒板にいる女の子（どうやら耳がとがってて別の種族のようだ）が最初に言った。

「こつち見て〜キャ〜」

窓側にいる男の子（どうやら見かけは人間）が軽い口調で言い寄ってきて…

「おいっ何でこいつがかっこいいんだよ！このおれもけっこーいけるだろ？」

「何よ、それが不満なわけ？この人のどこが気に入らないってのよ！」

「全部だ！全部！特に自分はクールを気取ってるところが気に入らねえ！」

ああ、言い忘れてた、この種族の種類は有名なものから、神族・魔族・人間族あと精霊族がいる。

あとほかにもあるのだがここではまだ言わないでおこう……。

そして扉側の男の子（どうやら耳が変形してないので見かけは人間）はこう言った

「……おまえたち一体何の話をしてるのだ……さっきから話の

主旨が掴めないのだが？」

そしたら同じく後ろの黒板にいる男の子（どうやら耳がとがってないので見かけは人間）が

扉側の男の子をおちよくるように言った

「って君分らないの〜ばあつかだねえ〜まあ君だから教えてあげてもいいけど、どうする？」

そしたら扉側の男の子は怒りをあらわにしながら、

「今の言葉を他の奴に言ってみろ・・・確実に人権侵害だぞ・・・」
「おほっやるかい？」

そしたら後ろの黒板にいる女の子（どうやら耳がとがってて別の種族）が言った。

「いい加減読者に自分たちの名前を紹介してあげようよっあたしの名前は・・・リリア」

扉側の男の子は自分の名前を言い出した。

「俺の名前は・・・ゼイウだ・・・」

窓側の男の子も同じく・・・

「（ちっつ何で話の腰を折るんだよりリリアは）・・・まあオレの名前はルイシンだけど？」

そしたらゼイウは後ろの黒板に居る男の子に言った

「おい次はお前の番だぞ・・・」

後ろの黒板に居る男の子はおちよくる様に言った

「そんなこと君に言われなくてもわかってるよ〜分からないとでも思った？まあ僕の名前はエフィール」

エフィールの言葉でゼイウの堪忍袋の緒が切れつつも声は冷静にエフィールに言った。

「貴様の言葉はいちいちカンに触る・・・どうしてだ・・・そうか遺伝子的に嫌ってるのか・・・だから貴様をこの世から消し去ろうと思うのか・・・」

そしたらエフィールは・・・、

「おっやっぱり・・・するかい？」

砂ぼこりをあげながらエフィールとゼイウが辺りの物を武器に使いな

がら
お互いの悪口を言いながら暴れ始めた！

そしたらリリアは耳を押さえながらこの場を締めくくる様に言った

「まあ…こんな感じなのよこの二人は…まあこれ以上いくとおわりそうにないのでここでここで終るけどね・・・っていつまでやってんのよ二人とも！」

「テメエだつて変態だろうがこのエロエロ大魔王がっ」

リリアは半ば強引に幕を引いた！

「じゃっ今日はここまで！さよならっ……っていい加減にしさ
いよあんたたち！」

そして世界は戦火の渦に見舞われた……。

「っていうか…エフィルとルイシンってほぼ同一人物みたい…」
と、リリアが言ったという…

第一話 怒り！（後書き）

こいつら本当に人間なのか…？

第一話キャラクター名：ゼイウ（性別：男 種族：人間）
ルイシン（性別：男 種族：人間） リリア（性別：女 種族：
精霊族） エフィル（性別：男 種族：人間）

第二話 でっしばい

…このクラスは1年4組のようだ…

「……………なんだよ…なんか用か？」

おっと始め登場したのが耳が尖った人物で見た目は男性に見える…
が、種族的には人間以外の
種族だろうか…？

そして遠くで誰かとしゃべってるのだろう…少年がいる教室からは
見えないが…

その少年は見たところ耳がとがってないので人間に見える…。
たったった…

そしたらだれかが走ってきた！

「うわっ」

ドガアアアアアン

どうやら思いつきり耳の尖った男性にぶつかり、痛そうな表情を見
せる見た目は幼い感じを見せる男の子で、耳が尖っていないが他の
とは一概には言えない…多分人間だろう。

「いててててててて…だっただれだよ今ぶつかってきたの！」

その幼い感じの男の子はぶつかってきた相手にこういった
「ごっごめんなさい今片付けますから！」

そう相手が言ったら幼い感じの男の子は言った

「あつそんな感じで言ったんじゃないんだっごめんね・・・きみは大丈夫？」

そう言つと幼い男の子は、

「あつ僕も手伝つよ？」

その相手は男の子のような容姿ではなく体がまるい女性だった

「あついいですつ私がやりますから・・・」

そう言つとかたづけをやりだす女性というか女子高生に近い・・・

「...やっぱり手伝つよ!」

じつとしているのが飽きたのか、幼い男の子は手伝おうとする

「やつやめて下さい!手助けはいりません!」

そしたらなにか思い出したように幼い男の子...が、

「あ...あのそろそろ、なまえを言つていいですか...?ぼ...ぼくは、せ...セリンです!」

そうすると女の子の拳が飛んだ!

「あなたのせいで絶好の笑いのタイミング逃したじゃないの!」

ボグッ

「!?!?!?」

殴られたセリンの心の中は疑問に満ちていた...

「ああオレの名前はシノンだ」とシノンはいった

見た目ではエルフとも魔族とも似ているが...ああ魔族とエルフとの違いは、『瞳の色の違い』

神族は、暖色系な色たとえば、黄色、オレンジ系の色。魔族は、寒

色系の色、まあ例外もある。エルフは、緑系 茶色系の色。

この男の瞳の色は赤であるが黒も混じってる…これはもしや…まあ今はばらさないでおこう…。

要するに魔族の例外と覚えておけば良いと思う。

やれやれといわんばかりに女の子が言ってきた

「ちょ…ナレーター長すぎ…でもしょうがないわね説明不足だったんだし、わたしの名前はエルンよ……ちょっと…集まらないですよ…暑いわよ」

そしたらシノンが鼻を鳴らし言った

「フン…こいつが集まったほうが良いと言った…それとお前の種族はなんだ？」

「えっわたしの?…エルフだけど…」

「じ…じゃあ…ぼくが、締めくりります…ど…どつもありがとつ…ごっごぎいました…次回もよろしく…」ペこり
セリンが締めくくった。

第二話 でっこぼこ（後書き）

第二話出てきたキャラクター

シノン：（性別：男性 種族：魔族の例外）

エルン：（性別：女性 種族：エルフ）

セリン：（性別：男性 種族：人間？）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3531d/>

世界崩壊！？

2010年10月29日01時49分発行